

町村をむすぶ

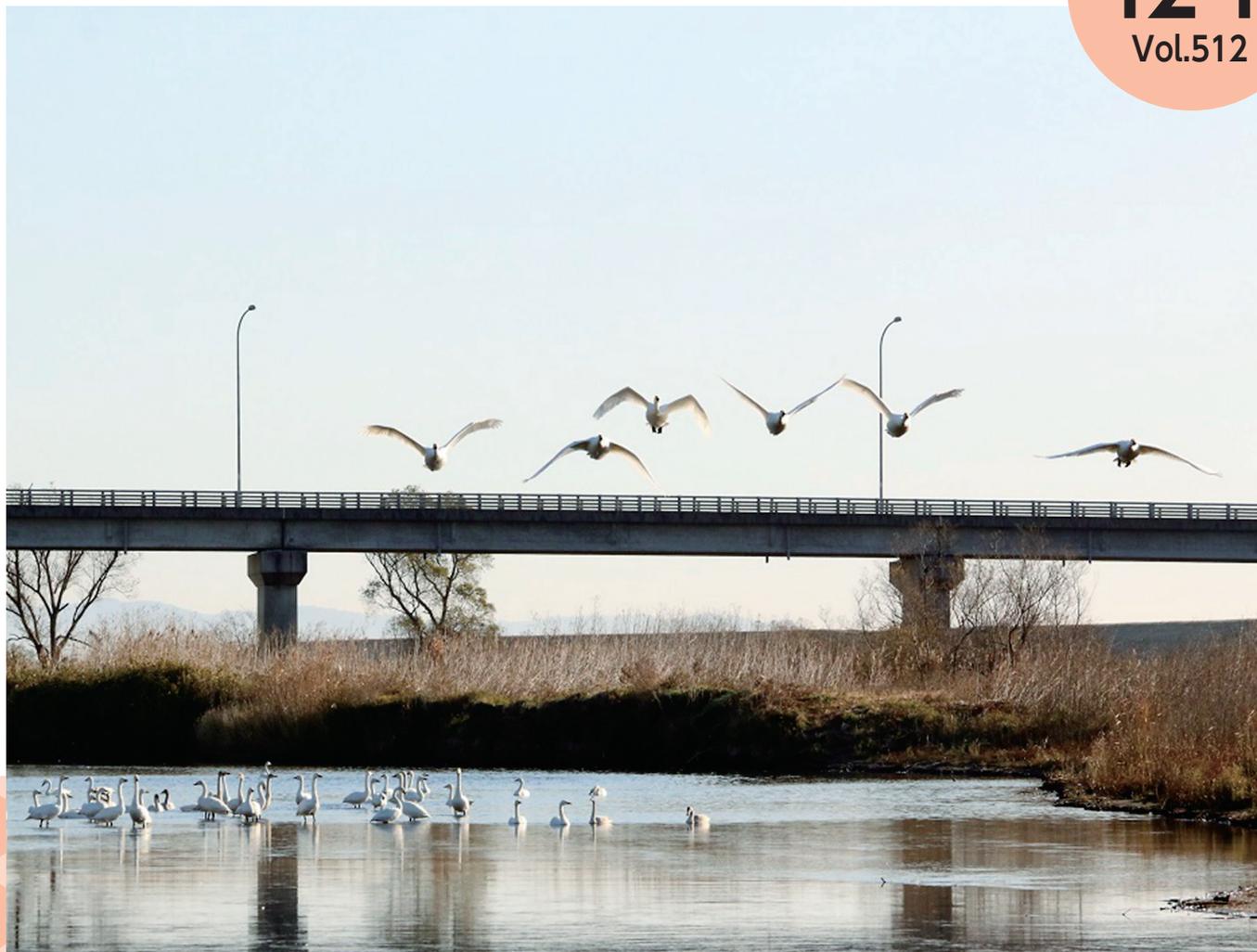
# MIYAGI 宮城町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2022-2023

12-1

Vol.512



町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～美里町～

「地域おこし協力隊が着任しました！」

## 冬の訪れを告げる渡り鳥

町の中央部を一級河川「吉田川」が流れ、豊かな田園風景が広がる大郷町。寒さが増してくると、そこは渡り鳥の飛来地として多くの白鳥などが集まります。夏にはホタルが舞い、冬には渡り鳥の訪れが季節の移ろいを知らせてくれます。

県への要望

県知事、県議会議長に対する県予算等に関する要請活動

― 令和5年度の県予算・施策に向けて ―

県町村会は、11月10日、県知事及び県議会議長に対し、令和5年度県予算編成並びに施策に関する要請活動を実施いたしました。

〔宮城県知事、県議会議長に対する要請活動〕

午後1時、宮城県庁4階特別会議室において、村井嘉浩宮城県知事に対し要請活動を実施し、町村が抱えている課題38項目をまとめた要望書を手渡しました。



村井嘉浩宮城県知事(右から2番目)と本会正副会長

始めに櫻井会長から、挨拶を兼ねて要望事項について発言し、特に新型コロナウイルス感染症の対策強化と、風力発電事業に係る県条例の制定について、村井知事に要請しました。

これに対し村井知事からは、要請された2点についての回答をいただき、その後町村長と意見交換が行なわれました。

引き続き1時45分、宮城県議会議



菊地恵一宮城県議会議長(右から2番目)と本会正副会長

1階第一応接室において、菊地恵一宮城県議会議長に対し、要請活動を実施し、要望書を手渡すとともに、町村長との意見交換が行われました。

今回の要請活動には、19町村長が参加し、活発な意見交換が行われるなど充実した要請活動となりました。

※要望事項の全文を本会HPに公開中



村井知事に対し要請を行う櫻井会長

〔令和5年度県予算・施策要望〕

- [1] 東日本大震災復興関連事業について
- [2] 新型コロナウイルス感染症の対策強化について
- [3] 町村財政基盤の強化について
- [4] 地方創生の推進について
- [5] みやぎ発展税の課税期間延長について
- [6] 市町村振興総合補助金の充実について
- [7] 総合防災対策事業の整備促進について
- [8] 警察機能等の増強について
- [9] 消防団の体制強化について
- [10] 地域公共交通等の充実強化について
- [11] デジタル化施策の推進について
- [12] 年金支払額の過年度課税等の取扱いについて
- [13] 旧鉱物採掘区域災害対策への支援強化について
- [14] 河川・海岸等の整備促進について
- [15] 道路整備事業の促進について
- [16] 宮城県総合運動公園(グランディ21)周辺の総合交通対策について
- [17] 令和元年東日本台風からの復旧・復興へ向けた支援について
- [18] 令和4年7月豪雨の被害に対する復旧について
- [19] 農業・農村対策の充実強化について
- [20] 森林・林業対策の推進について
- [21] 水産業対策の充実について
- [22] 野生鳥獣被害対策の拡充について
- [23] 松島湾リフレッシュ事業の継続的事業化と早期完成について
- [24] 広域観光の充実に向けての支援について
- [25] 仙台北部中核都市建設の促進について
- [26] 企業誘致と新産業創出の促進について
- [27] 中小企業の支援について
- [28] 高齢者就業機会確保事業(シルバー人材センター事業)について
- [29] 消費者行政の強化について
- [30] 再生可能エネルギーの促進について
- [31] 地域新電力の推進について
- [32] 廃棄物処理対策への支援について
- [33] 国民健康保険の安定的運営について
- [34] 地域の保健医療について
- [35] 社会福祉対策について
- [36] 子育て支援対策の充実強化について
- [37] 学校教育環境等の充実について
- [38] 文化財保護法「特別名勝松島」に係る区域指定の見直し等について

## 県要望に関する要望事項説明会

11月10日、宮城県知事、宮城県議会議長に対する要望活動実施後、午後3時20分から、江陽グランドホテルにおいて、池田敬之宮城県副知事、伊東昭代宮城県教育長をはじめ、12名の県幹部が出席し、令和5年度県予算編成並びに施策に関する要望事項についての説明会を開催しました。

説明会では、10月14日に実施した政務委員会において決定された要望事項について、総務建設・産業経済・厚生文教の各部長がそれぞれの部会の要望内容を説明しました。

項目は次のとおり

### ・総務建設部会

地方税滞納整理機構の継続的な運営について、災害救助法の適正な運用について、地域公共交通などの充実強化について、デジタル化施策の推進について

### ・産業経済部会

令和4年7月豪雨の被害に対する復旧について、畜産・酪農振興の推進について、新規漁業者の育成・確保について、インバウンド受け入れ体制の整備について

### ・厚生文教部会

脱炭素社会の推進について、民政

委員関係事業補助金について、中学校部活動の地域移行による指導員への財政支援の拡充及び新たな制度の創設について

各部会の要望内容について、県担当部長からそれぞれ回答をいただくとともに、関係する政策情報について説明がありました。

その後、意見交換を実施し、町村長から多くの意見や質問が出され、また県担当部長からは、町村が抱える課題への積極的な支援について発言されるなど、活発で有意義な要望事項説明会となりました。



要望事項説明会

## 全国町村長大会・意見交換会

11月17日、東京都千代田区紀尾井町のホテルニューオータニにおいて、全国町村長大会が開かれました。3年ぶりに全国の町村長が一堂に参集した大会では、「全国的な防災・減災対策、国土強靱化の推進に関する緊急決議」、「新型コロナウイルス感染症対策の充実強化と地域経済の再生に関する特別決議」のほか、政府予算・施策に関する要望35項目について採択が行われました。

大会終了後、政務委員会正副部会長及び本会監事が衆・参議院議員会館を訪問し、宮城県関係国会議員に対して大会の決議及び要望の実現方について要望活動を行いました。

また、午後6時から、ホテルニューオータニにおいて、宮城県関係国会議員・宮城県知事・宮城県議会議長と町村長との意見交換会を開催しました。意見交換会では、大会における決議・要望の実現について要望するとともに、活発な意見交換が行われました。



## 町村会日誌

11月

▼10日 宮城県知事・宮城県議会議長に対する要望活動(県庁)

県要望に関する要望事項説明会、意見交換会(江陽グランドホテル)

▼14日 東部地区(北海道東北関東)町村会会長会議 (秋田県三郷町ほか) 櫻井会長出席

▼15日 全国過疎地域連盟総会・大会(日本教育会館)

ダム・発電関係市町村全国協議会理事会・定例総会(全国町村会館)

▼16日 全国町村会正副会長会・理事会(全国町村会館)

▼17日 全国町村長大会(ホテルニューオータニ)

宮城県関係国会議員に対する大会決議・要望実行運動(衆・参議院議員会館)

宮城県関係国会議員・宮城県知事・宮城県議会議長と町村長との意見交換会(ホテルニューオータニ)

▼18日 水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会(全国町村会館)

全国山村振興連盟通常総会(グランドアーク半蔵門)

全国観光地所在町村協議会理事会、総会(全国町村会館)

▼29日 宮城県市町村非常勤消防団員補償報償組合協議会(宮城県自治会館)

北海道東北六県町村会事務局長会議(全国町村会館)

▼30日 自由民主党地方税に関する勉強会(自由民主党本部) 櫻井会長出席

12月 全国町村会正副会長会(全国町村会館)

本会主催の行事はありません。

# 「地域おこし協力隊が着任しました！」

令和4年4月、美里町で初となる地域おこし協力隊として4人の隊員が着任しました。4人の隊員は、「町のプロモーション」や「町公認キャラクターによるまちづくり」という美里町が募集したミッションに取り組みながら、自身の描いている目標に向かって活動を行っています。令和4年12月現在、着任から8か月経過しましたが、地域の方に顔を知ってもらえるように、ミッションのほか町や地域のイベントに積極的に参加して知名度は上昇中であり、隊員のこれ

からの活躍にも大きな期待が寄せられています。また、令和5年度からの新しいミッションとして、「新規就農、農産物の付加価値向上」「鉄道によるまちづくり」「スポーツの振興と健康づくり」分野で活動する隊員を新たに3人募集しています。どれも、ここを掘り起こせば町がもっと元気になる「ミッション」です。今後も隊員の新たな視点を取り入れて協力をもらいながら、まちづくりや地域活性化に取り組んでまいります。



地域おこし協力隊活動 PR イベント  
「2022 秋 Chiocollection」



美里町郷土料理「すっぽこ汁」の配布



みさとまちこちゃん普及活動

## 町村会の予定

### 1月

- 11日 正副会長会議
- 22日 市町村職員採用試験
- 25日 北海道東北六県町村会会長会議
- 26日 全国町村会正副会長会議  
全国自治協会理事会  
全国町村職員生活協同組合理事会  
全国町村会理事会  
都道府県町村会会長会  
全国町村職員生活協同組合総代会

### 2月

- 14日 自治功労者表彰式  
町村長会議

\*新型コロナウイルス感染予防のため、日程が変更になることがあります。

## 共済事業アレコレ

### 全国町村生協の共済事業について

～退職を予定されている組合員の皆様へ～

現職の組合員の皆様は、退職にあたって、退職者組合員に移行していただきます<sup>(※)</sup>と、在職中にご加入いただいた共済事業を引き続き、終身でご利用いただくことができます。(特定疾病保険は満79歳までの加入となります。)

また、組合員ご本人がお亡くなりになった場合、希望すれば配偶者の方に限り契約を承継することもできます。(加入要件あり)

※移行にあたっては、次の要件があります。

1. 本組合の職域に25年以上勤務し退職された方
  2. 退職時に5年以上継続して本共済事業を利用されていた方
- なお、退職組合員への移行については、退職前に団体担当者の方を通じて「退職者組合員加入承認申請書」を提出していただきますようお願いいたします。  
その後は団体を通さず、退職者組合員と組合との直接の手続きとなります。

詳しいお問い合わせは、団体担当者または下記までご連絡ください。

全国町村職員生活協同組合宮城県支部(宮城県町村会事業推進課)  
022-221-9203